

当センターにおける

乳腺穿刺細胞診の検討

～鑑別困難症例を中心として～

(株)秋田病理組織細胞診研究センター

○齊藤千佳 阿部一之助 大谷雅也 金子 翔 三浦宗子

<はじめに>

当センターは2005年より乳腺細胞診の報告様式を従来のクラス分類からガイドラインに沿った判定区分に変更し、診断を行っている。

今回、我々は当センターにおいて鑑別困難と判定した細胞像と組織像を見直し、その原因について検討したので報告する。

＜対象・方法＞

2005年9月～2007年5月までの約1年6ヶ月間に提出された乳腺穿刺細胞診2007件を判定別に集計し、鑑別困難症例について検討した。

乳腺穿刺細胞診断内訳

判定	件数(%)
良性	1232(61.3%)
鑑別困難	37(1.8%)
悪性疑い	12(0.6%)
悪性	99(4.9%)
検体不適正	627(31.2%)
計	2007 件

鑑別困難例の組織診断内訳

良性		悪性	
乳腺症	4例	乳頭腺管癌	7例
乳管内乳頭腫	4例	充実腺管癌	6例
線維腺種	2例	DCIS	4例
腺種	2例	アポクリン癌	3例
		硬癌	3例
12例		23例	

鑑別困難の原因

- 1) 細胞量が豊富で増殖性病変が疑われるが、筋上皮細胞の混在を認める・・・20例(57.1%)

＜Intraductal papilloma, DCIS, Papillo-tubular carcinoma＞

- 2) 大型異型細胞集塊を多数認めるが、個々の細胞はN/C比小さく、規則的な配列を示した・・・6例(17.1%)

＜Ductal adenoma, Mastopathic fibroadenoma＞

- 3) 異型細胞量が非常に少ない・・・5例(14.3%)

＜Scirrhou carcinoma＞

- 4) 悪性を強く疑うが細胞変性が強い・・・3例(8.6%)

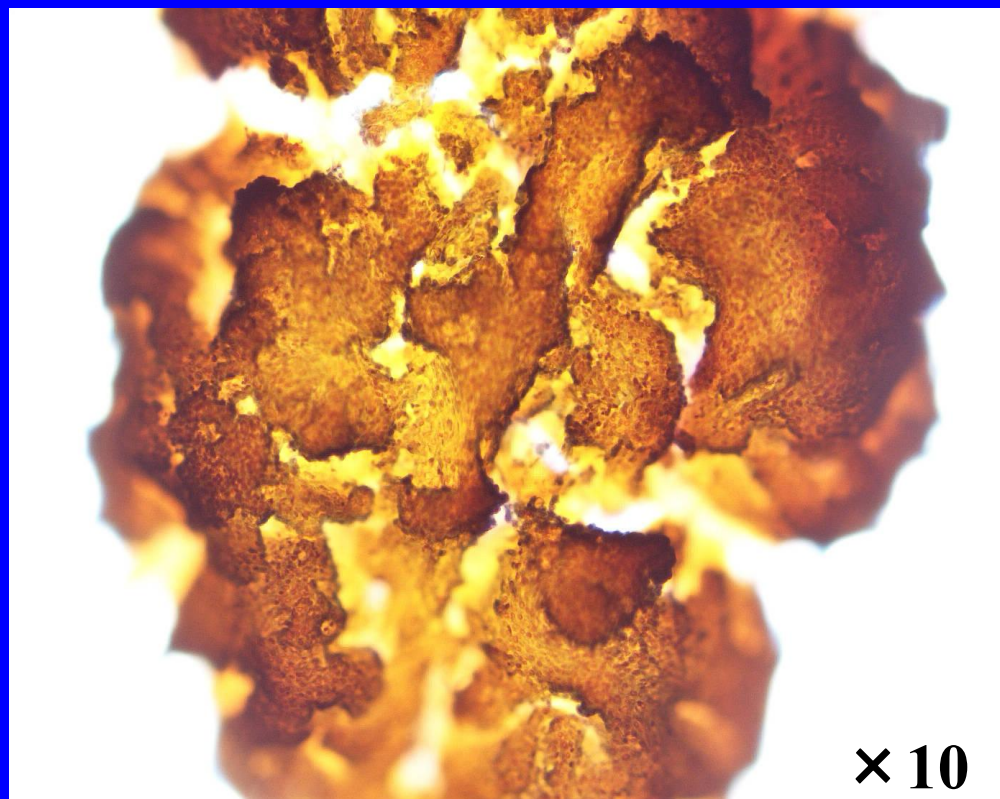
＜Solid-tubular carcinoma＞

- 5) 稀な腫瘍を疑い、積極的に診断しきれない

＜Apocrin ca＞・・・3例(8.6%)

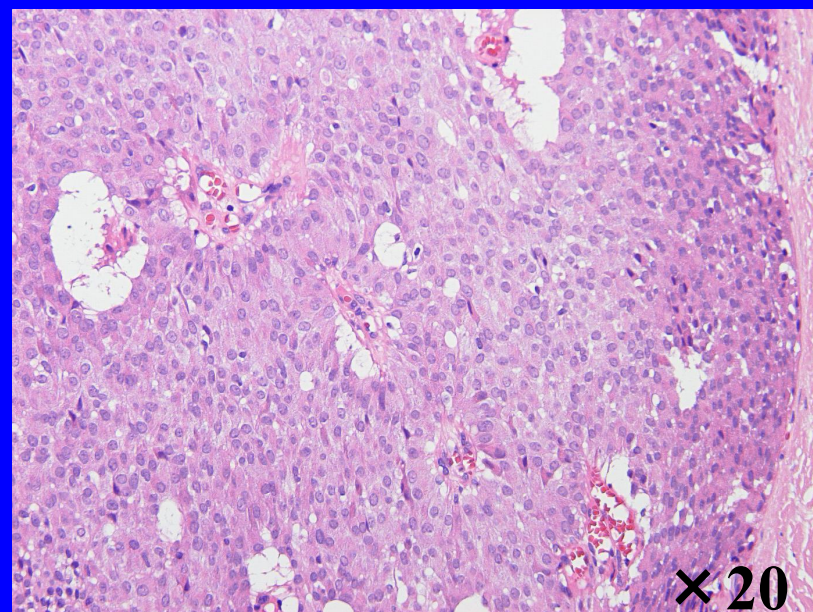
症例1 32歳

臨床診断: Benign 触診: Benign US: Suspicious 石灰化: 無
MMG: category1 穿刺吸引: 右領域A 腫瘍径: 14×12 (mm)



組織診断

Intraductal papillomatous lesion

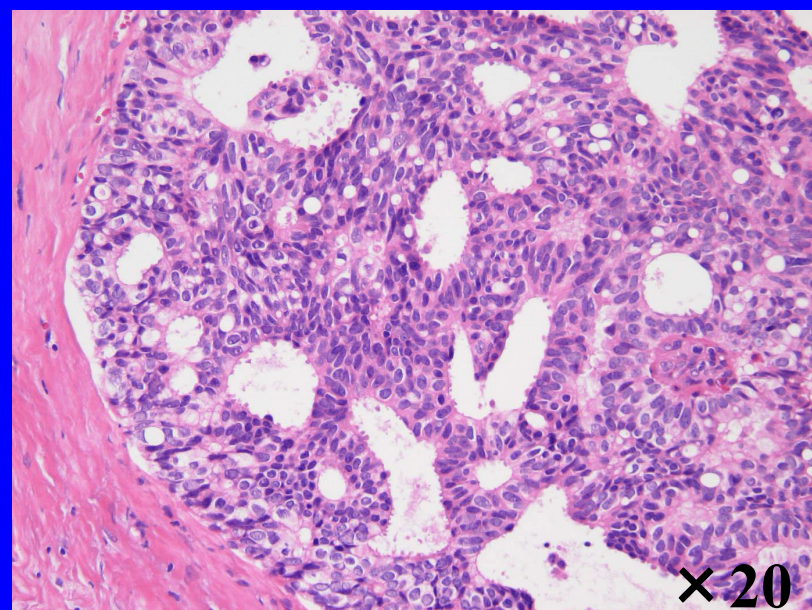
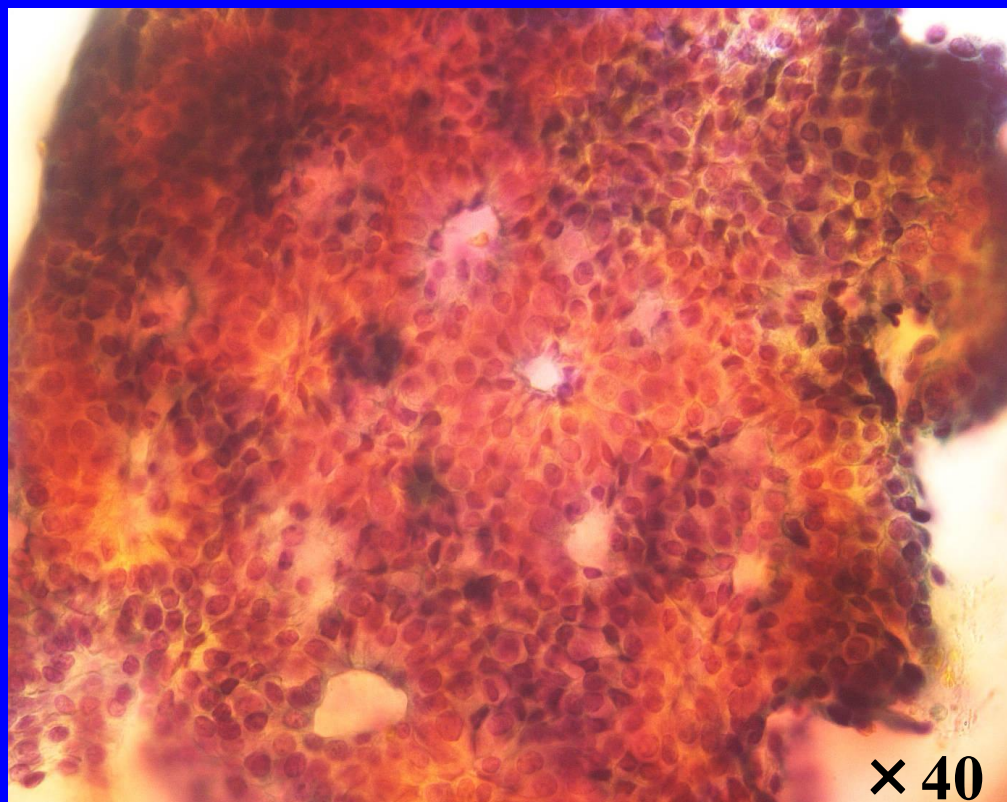


症例2 64歳

臨床診断: Suspicious 触診: Suspicious US: Suspicious
MMG: category3 穿刺吸引: 右領域D 腫瘍径: 39(mm) 石灰化: 有

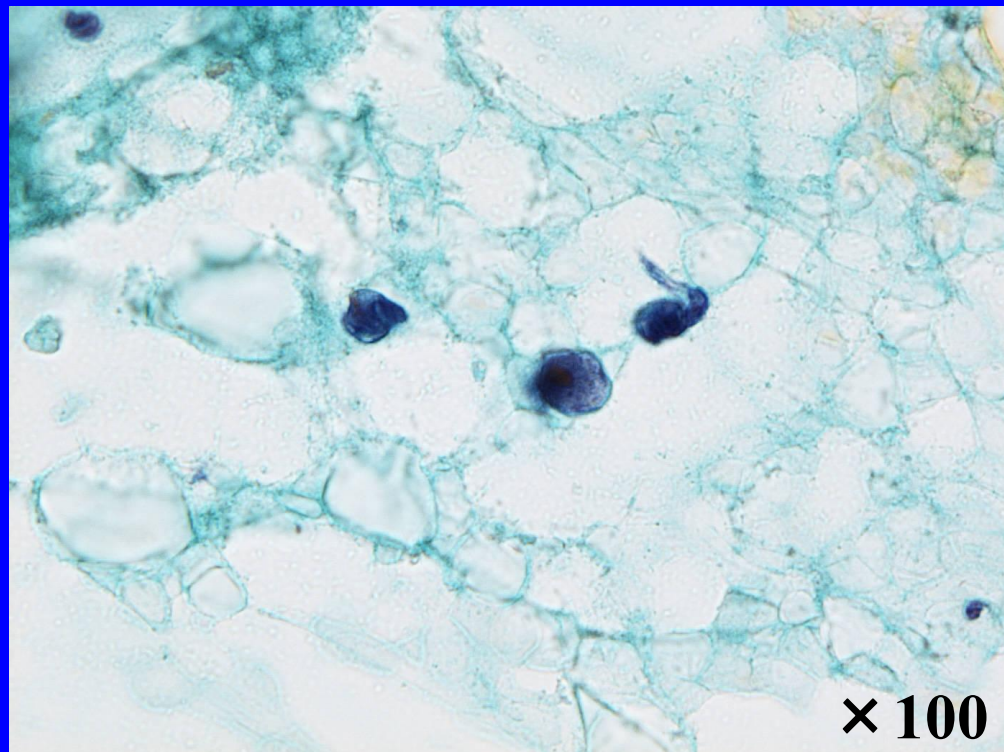
組織診断

Low grade ductal carcinoma in situ
(DCIS)



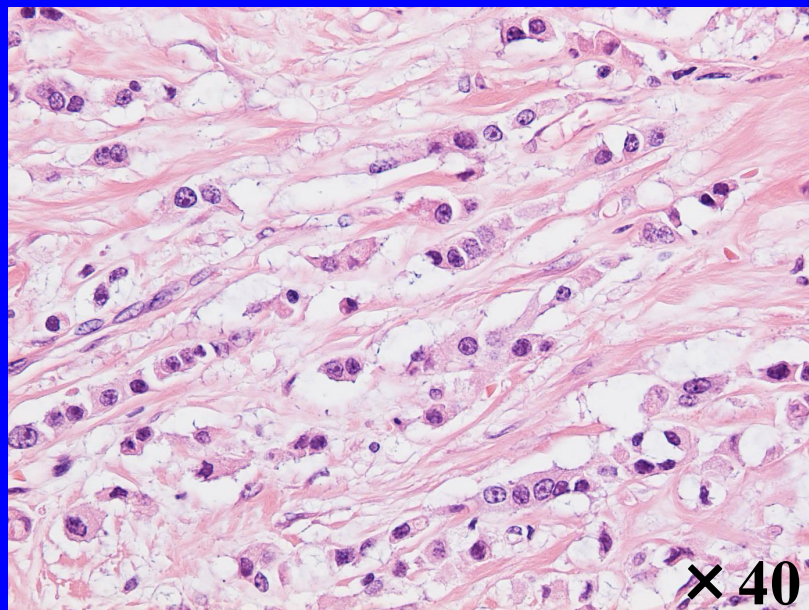
症例3 38歳

臨床診断: Suspicious 触診: Suspicious US: Suspicious 石灰化: 無
MMG: category 穿刺吸引: 左C領域 腫瘍径: 17(mm)



組織診断

Scirrhou carcinoma



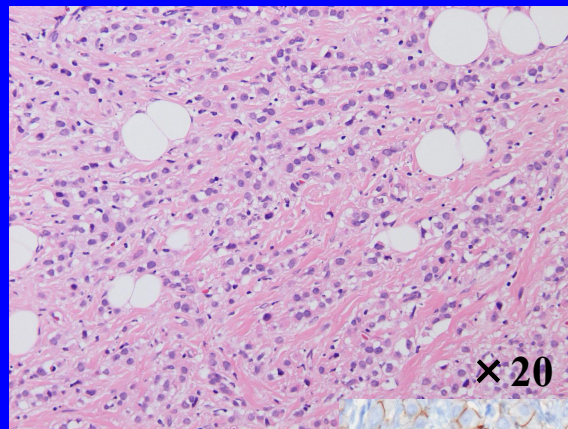
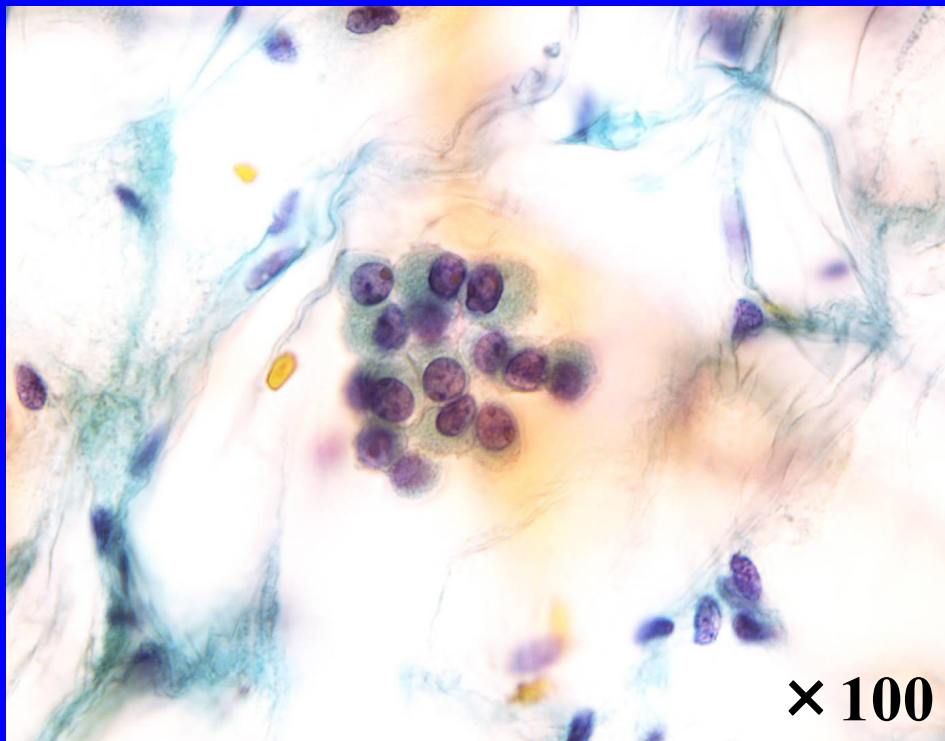
症例4 65歳

臨床診断: Suspicious 触診: Suspicious US: Suspicious

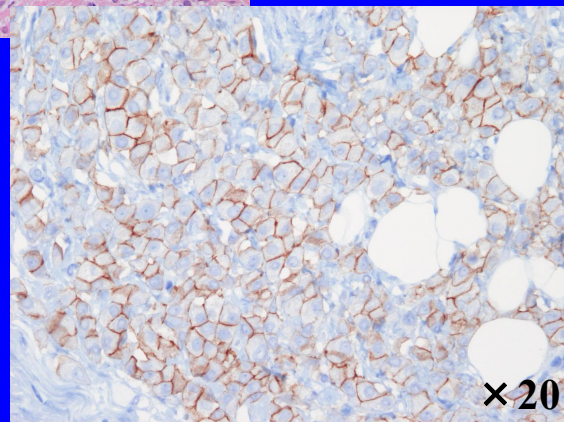
MMG: category 4~5 穿刺吸引: 左領域A 腫瘍径: 15(mm) 石灰化: 無

組織診断

Scirrhou carcinoma

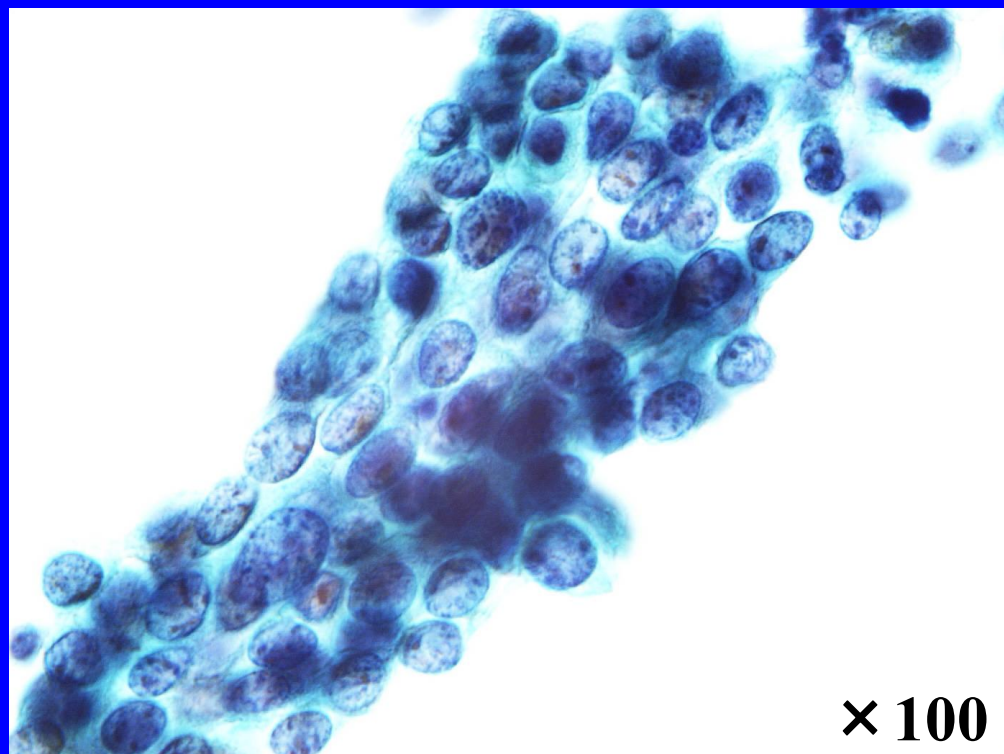


E-cadherin



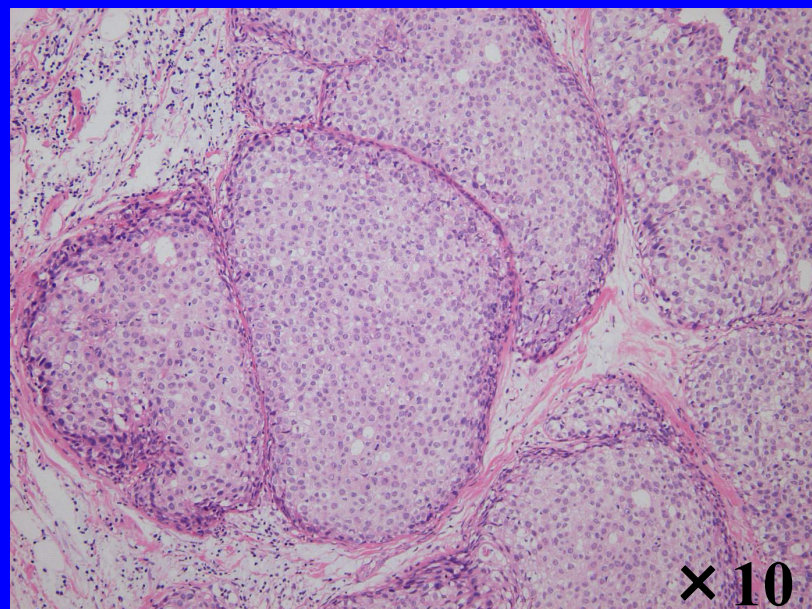
症例5 43歳

臨床診断: Suspicious 触診: Suspicious US: Suspicious 石灰化: 無
MMG: category1 穿刺吸引: 左領域D 腫瘍径: 10 (mm)



組織診断

Ductal carcinoma (DCIS)

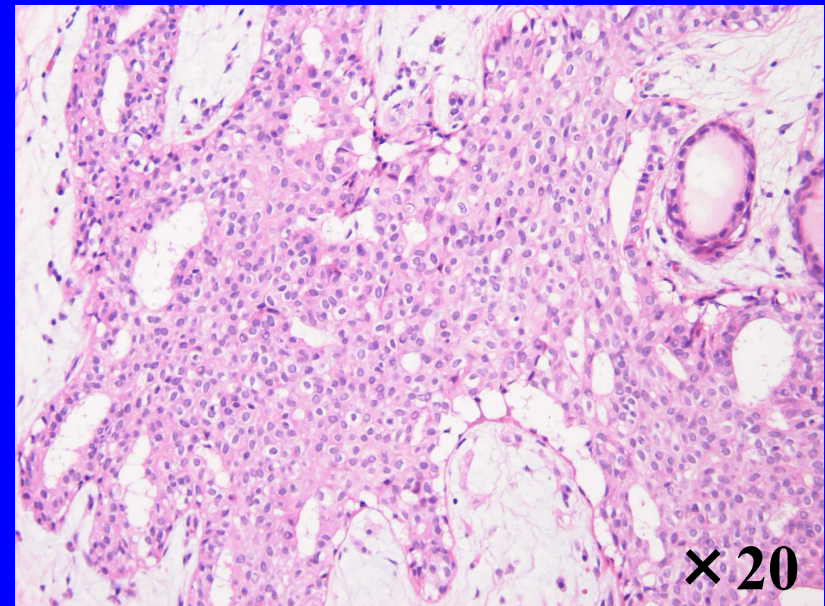
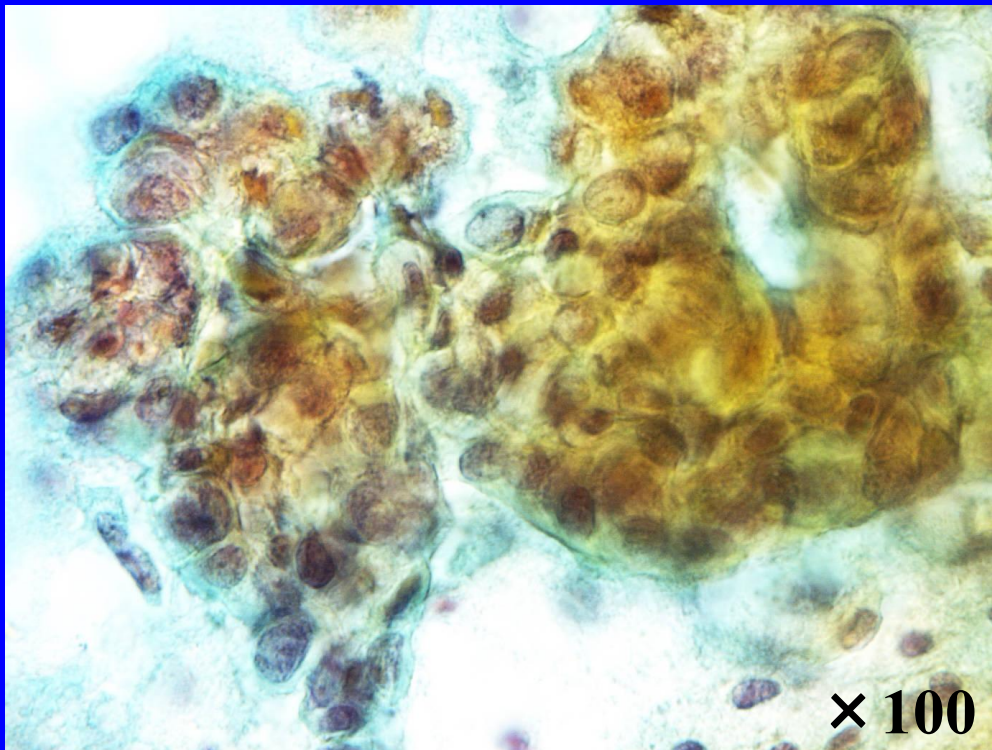


症例6 51歳

- 臨床診断: Benign 触診: Suspicious US: Suspicious 石灰化: 無
- MMG: category 1 穿刺吸引: 左D領域 腫瘍径: 34(mm)

組織診断

Mastopathic fibroadenoma

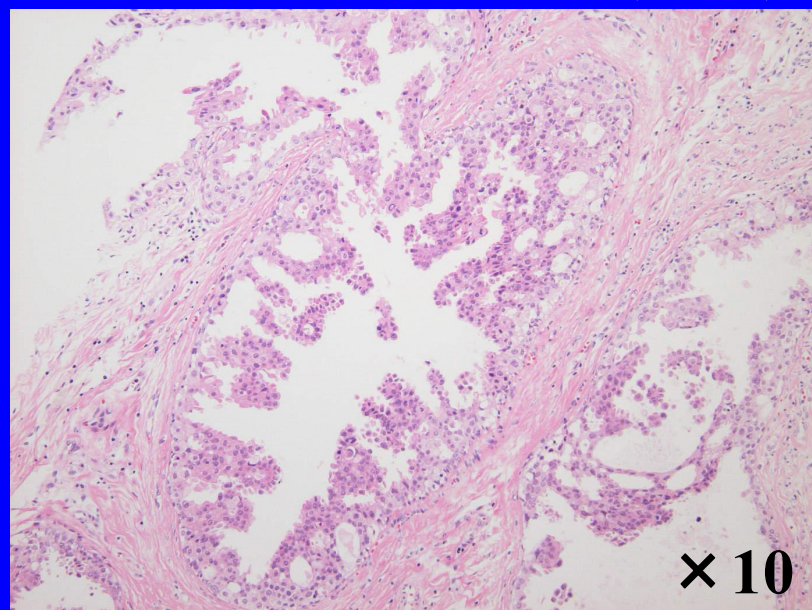
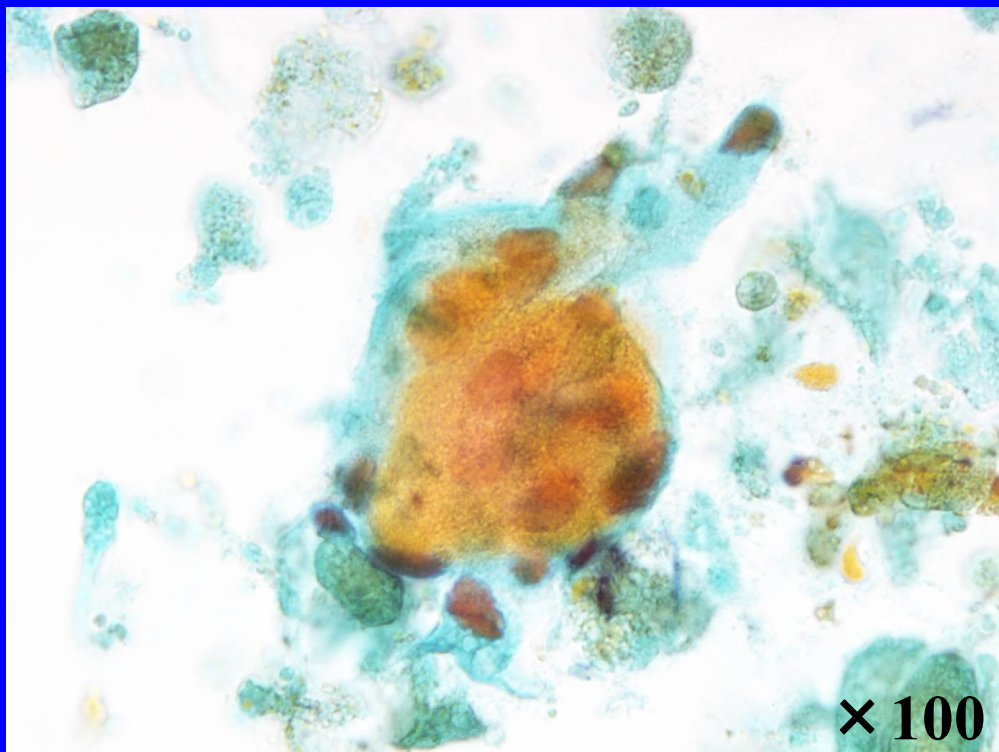


症例7 34歳

臨床診断: 触診: Suspicious US: Suspicious 石灰化: 無
MMG: category3 穿刺吸引: 右領域C 腫瘍径: 32(mm)

組織診断

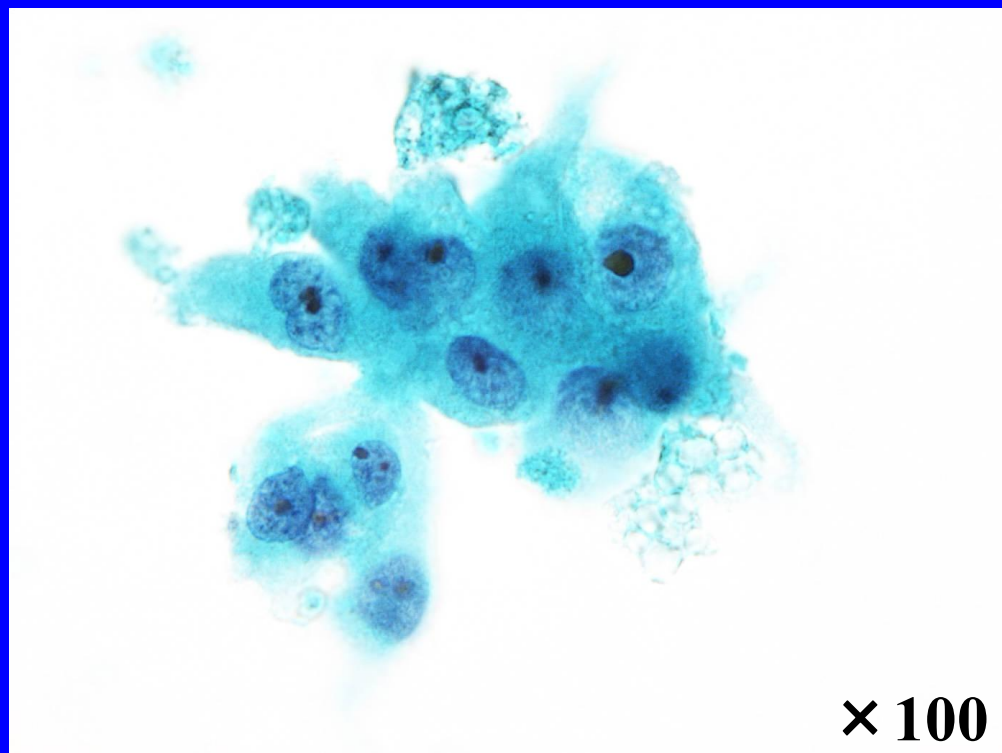
Low grade ductal carcinoma in situ
(DCIS)



症例8 63歳

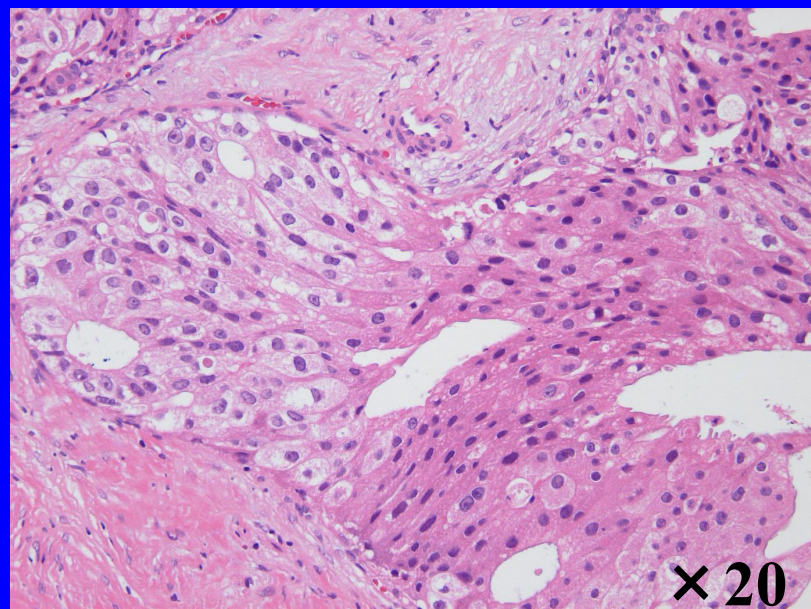
臨床診断: Malignancy 触診: Suspicious US: Suspicious

MMG: category3 穿刺吸引: 左領域C 腫瘍径: 28(mm) 石灰化: 無



組織診断

Apocrin carcinoma



<まとめ>

- 1) 乳腺穿刺細胞診2007件中、鑑別困難と判定した症例は37件(1.8%)であった。また、検体不適正627件を除いた1380件中では、**2.7%**であった。
- 2) 組織診断で確定した35例の内訳は、良性12例、悪性23例であった。
- 3) 鑑別困難の原因として、細胞採取量が豊富、異型細胞量が極めて少数、平面的で規則的な配列を示す大型異型細胞集塊、乾燥などの細胞変性、アポクリン癌などの稀な腫瘍などが挙げられた。